

ヒト疾患モデル研究班

医療人として基礎実験に触れる機会を

班主任: 長尾 静子

西井 一宏、釘田 雅則、吉村 文、熊本 海生航、萩原 英雄、手塚 裕之

ヒト疾患モデル研究		
テーマ	疾患モデル動物およびその基本的な取り扱いを学びながら、自分の考えを相手に適切に伝える能力を身につける	
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・種々の疾患モデル動物を知る・動物実験の重要性を考える・動物福祉を考える・疾患モデル動物の取り扱い方法を習得する	
活動の特色	実験動物(疾患モデル含む)に関する基礎知識を学ぶことができる 基本的な動物実験手技を習得できる	
特記・注意事項		
身につく コミュニケーション能力・ 技術	思考の言語化	社会における疾患モデル動物の重要性や動物福祉について考えることを通して、自分の考えを言語化する能力を身につける。また、動物実験手技の習得を通して技術を適切に伝える方法を身につける。活動報告会の発表を通して、自分の考えや体験を大勢の人に発信する方法を身につける。
	意思伝達	
	体験のプレゼンテーション	
班主任名	長尾静子 疾患モデル教育研究施設	
<初回>活動場所	大学1号館B3F 疾患モデル教育研究施設	
<通常>活動場所		
<雨天時>活動場所		